

平成29年度 公開授業 大阪落語への招待

大阪市立大学では、平成19年度より「大阪落語への招待」と題し、大阪落語の第一線で活躍する落語家を講師に迎え、一般の皆さま方と本学学生が共に学ぶ授業として公開しております。

3ヵ月にわたる授業では、「大阪落語」の面白さや奥深さを、プロによる実演から感じていただき、大阪の文化、芸能、市民生活について解説。さらに江戸落語との違いや、歌舞伎や音曲との関係など、その歴史や表現の特色を明らかにします。

今年度も大変ご好評をいただきました。

講師：久堀 裕朗（文学研究科教授） 桂 春之輔（客員教授）

桂 春雨（客員教授）他

開催期間：平成29年4月12日(水)～平成29年7月19日(水)【全14回】

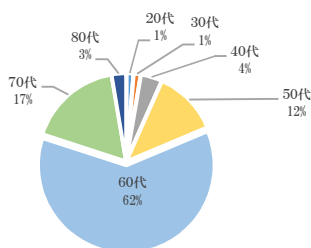
開催時間：16時30分～18時00分

開催場所：大阪市立大学杉本キャンパス 基礎教育実験棟1階 階段教室

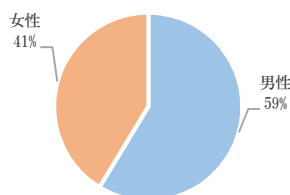
受講者数：一般130名（のべ1,339名）、学生200名

一般受講生の皆さま

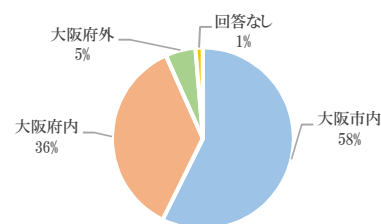
【年齢層】



【性別】



【お住まい】



7月5日 寄席への招待

第12回目の授業は、「寄席への招待」と題し、学術情報総合センター（図書館）の10階大会議室にて行われました。

高座を組み、客員教授である桂春之輔をはじめ、一門の方々による落語が実演されました。出囃子もある中での演芸場さながらの寄席に、会場は終始笑いに包まれました。



桂 春雨
「皿屋敷」



桂 春之輔
「死ぬなら今」



桂 梅団治
「佐々木裁き」

7月19日 修了式

最終回の授業が終わった後、一般受講生の方を対象に、修了式が執り行われました。全14回の授業のうち、10回以上ご出席された方へ修了証が授与されます。

今年は92名の方にお渡しできました。うち39名もの方が皆勤でご出席いただきました。



【一般受講生アンケートより】

・大変楽しく受講させていただきました。個人では中々得られない知識を得ることができ、これからもっと落語を聞くのが楽しくなりそうです。

・大阪に生まれ育った大阪の文化を、落語を通して学べたことはとても嬉しく思いました。大阪市立大学の学舎で、大学の先生、学生さん達と同席して学べたことはとても刺激を与えてくれました。ありがとうございます。そして春之輔先生をはじめ、本物の！！落語をされている方々に実演をしていただきながら、久堀先生の講義を受講でき、深みのある講義でした。